

キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議 中間まとめ ～ 児童生徒一人一人の勤労観，職業観を育てるために ～ のポイント

就職・就業をめぐる
環境の激変

若者の勤労観，職業観や職業人
としての資質・能力をめぐる課題

高学歴社会におけるモラトリアム
傾向などの生活意識の変容

学校の教育活動全体を通じて，児童生徒の発達段階に
応じた組織的・系統的なキャリア教育の推進が必要

キャリア教育とは 児童生徒一人一人の勤労観，職業観を育てる教育

望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに，自己の個性を理解し，主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育（平成11年12月中央教育審議会答申）であり，児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し，それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育

キャリア教育の視点から従来の教育の在り方を見直し
各学校での教育課程の改善を促す

【キャリア教育の基本方向】

一人一人のキャリア発達の的確な把握と支援（カウンセリングの充実等）
キャリアに関する学習と，教科・科目の学習との相互補完性の重視
職業人としての資質・能力を高める指導の充実
働くことの意義の理解，自立意識の涵養及び豊かな人間性の育成

【キャリア教育推進のための方策】

各発達段階に応じた「能力・態度」の育成を軸とした学習プログラムの開発
各学校における教育課程への適切な位置付けと指導の工夫・改善
体験活動等の活用（職場体験，インターンシップ等）
社会・経済の仕組みについての現実的理解・労働者としての権利・義務等の知識の習得

【キャリア教育を推進するための条件整備】

教員の資質向上と専門的能力を有する教員の養成

キャリア教育の本質的理解の共有と認識の確立
カリキュラム開発やコーディネート能力を有する
中核的役割を担う教員の研修実施
キャリア・カウンセリングを担当する教員の研修
プログラムの開発・普及

学校外の教育資源活用にかかるシステムづくり

インターンシップ受入れ企業・機関等の確保など，
体験活動等推進のための地域でのシステムづくり
幅広い層からのキャリア・アドバイザー確保・活用
のシステムづくり

保護者との連携の推進

学校からの保護者への積極的な働きかけ
家庭の役割の自覚
学校教育への積極的な参画

関係機関等の連携と社会全体の理解の促進

関係機関等がインターンシップ等の実施について
連絡・協議・推進していく場を国，地方レベルで整備
ハローワーク，大学・専門学校等との連携や経済
団体，企業等の理解と協力の推進